

歴史、未来、そして今

1889(明治22)年2月に大日本帝国憲法が公布され、翌1890(明治23)年7月の第1回衆議院議員総選挙を経て、同年11月、第1回の帝国議会が召集されました。我が国における議会制民主主義の誕生です。そして、2020(令和2)年は、議会開設130年の節目の年を迎えることになります。



当初は、木造洋風二階建ての仮議事堂でしたが、大正年間に入って鉄筋鉄骨の新議事堂建築計画が進められ、関東大震災を乗り越えて、1936(昭和11)年11月、美しい尖塔を持つ現在の国会議事堂が竣工しました。小学校あるいは中学校の国会見学などで、参観した方もおられるのではないのでしょうか。

我が国議会制民主主義の歴史を眺めてきたこの議事堂の中で、全国各地から選ばれてきた国会議員の先生方が、それぞれの民意を背景にしながら、日々、我が国の現在、そして未来のために、議論を繰り広げています。私たちは、法制立案のプロフェッショナルとして、そのような議論に込められた国会議員の、そして国民の皆さんの多様な「おもい」を、法律という「かたち」に仕上げていくお手伝いをしております。

「歴史」を感じさせる議事堂の下で、我が国及び国民の「未来」のために、「今」精一杯働く——私たちの職場は、総勢100名足らずの小さな職場ですが、その分だけ、一人ひとりの役割は大きく、居場所とやりがいのある風通しのいい職場です。

「国会の、しかも第一院たる衆議院の法制局で働いてみたい」という学生の皆さん、このパンフレットに登場している、楽しんで明るい職員たちを、是非、訪ねてみてください!

衆議院法制局長

橋 幸信



目次

歴史、未来、そして今	2
衆議院法制局の機構図	3
衆議院法制局の職務	4-6
立案の現場から	7-8
ある若手職員の日	9

Career Story	10
出向・留学・研修	11
職員インタビュー	12・13
【対談】私たちのワークライフバランス	14
勤務条件等	15